

【江差町におけるまちづくりの現状と課題】

＜都市の状況・社会経済情勢から＞→詳細は(資料3)参照

◆江差町の概況・自然環境、社会環境◆

- ・東側に山地・丘陵地があり、幾つかの小河川が西流。南部は平地が少ないがかもめ島の対岸を中心に市街地が形成。北部は厚沢部川流域を中心に水田耕作地が発達。かもめ島や砂坂海岸林は檜山道立自然公園に指定。
- ・中世より蠣崎氏・松前藩の交易により発展し、17世紀後半からニシン漁が隆盛。明治になると箱館戦争の舞台となる。当時の歴史・文化を伝える遺構や伝承が多く残されている。

◆都市計画・市街地の状況◆

- ・行政面積(109.53k㎡)のうち、山林61k㎡、宅地2k㎡。都市計画区域1,352ha、用途地域248.7ha。
- ・生活利便機能は商業・近商地域に集積。用途地域外の伏木戸町では道立江差病院など各種施設が立地している。
- ・町内に商業施設はスーパー2件、コンビニ6件。うちスーパー1軒・コンビニ2件は用途地域外に立地。
- ・用途地域内、特に商業・近商地域にまとまった未利用宅地は少ない。

◆都市づくり施策の状況◆

- ・コンパクトなまちづくり、歴史や自然を生かした都市景観、高齢者や障がい者にやさしいまちづくり、環境やエネルギーの効率的利用、若い世代が働きやすく、暮らしやすいまちづくり、空き家対策の推進

◆上位・関連計画・施策の状況◆

- ・旧江光ビルの跡地利活用の検討/空き店舗・跡地活用/旧江差駅舎跡地の利用(公営住宅建設)/北の江の島構想の策定/木古内一江差間の高規格自動車専用道の早期事業区間化の促進/まちづくりカフェの実施/景観ワークショップ/町内会による花壇整備 など

◆町民アンケート結果◆ →詳細は(資料6)参照

- 車の保有状況:「家で車をもち、自分も運転している」割合が71.2%。また郊外部などで車への依存度が高い
- (満足度低・重要度高):「商業地の賑わい」「観光地の賑わい」「空き地・空き店舗の活用」
- まちづくりで優先して望むもの:「保健・福祉・医療」「便利で使いやすい」「快適・安心に住める生活環境」の順
- 今後の居留意向:緑丘・円山、市街地南部、都市計画区域北部で転出の意向が高い(理由は生活が不便だから)

＜都市構造、将来の持続可能性から＞→詳細は(資料4)参照

◆人口・経済活動◆

- ・人口密度の低下を抑えるため、若年者が働きやすい環境を構築するとともに、買い物・通勤等の生活利便性を高め、医療・福祉環境の向上など、安心して暮らすことができるまちづくりを進めていく必要がある。
- ・定住意向の高い北部や南部地域についても、暮らしやすい居住環境を維持していく必要がある。
- ・今後の人口減少による働き手の減少に対応するため、生産性や付加価値向上のための取組が必要。
- ・近年の外国人観光客の急増を契機とし、観光しやすい環境づくりなど、リピーター確保に向けた取組が必要。

◆土地利用・地価・財政◆

- ・コンパクトシティ・プラス・ネットワークの構築に向け、縁辺部・白地地域における土地利用の在り方(拡大抑制に向けた方向性)を定める必要がある。
- ・地価の下落を抑制し、定住促進を図るため、増加する空き家の活用を促進するとともに、空き地・空き店舗の活用などにより中心市街地を活性化し、まちの魅力向上を図る必要がある。
- ・公共施設の複合化や省エネ化、長寿命化等により、更新費や維持管理コストの適正化が必要。

◆都市交通◆

- ・今後予測される公共交通の利用者減に対応するため、コミュニティバス等の運行など、補完策の検討が必要。
- ・町民ニーズ対応と公共交通の利用促進により、既存路線バスのサービス水準の維持が必要。
- ・中心市街地に都市機能が集中している都市構造をふまえ、サービスの平準化を図るため、北部地区や柏・楸川地区との地域間ネットワークを充実する必要がある。

◆災害・安全・都市施設◆

- ・各種の防災対策や拠点での災害時対応機能の充実に加え、居住誘導等による安全な市街地環境の確保が必要。
- ・役場周辺は将来にわたり人流や情報・ネットワークの要、賑わい創出や経済活性化など活力増進をけん引するため機能集約し、拠点性の向上が必要。
- ・都市基盤整備では、町全体で最低水準の確保を意識しつつも、将来的に人口の定着が厳しいと見込まれる地区では、持続可能な都市経営の観点から更新や改善の在り方について必要に応じ再考する場合がある。

＜テーマ＞
(仮)

地域の歴史や文化を大切にし、将来に渡って楽しく、魅力を感じて暮らし続けられるまち

【まちづくり方針(たたき)】

＜基本目標＞(仮)

目標1 歴史や文化を活かして、多世代が気軽に集まって交流できる回遊型のまちなかづくり

- 歴史的資源の活用によるまちなかの魅力向上
- 公共施設の複合化等によるまちなかの拠点機能向上
- バリアフリー、UDの推進 など

【誘導方針・ストーリー】

- ・中心市街地及び周辺のまちなかに、都市活動や生活利便を支える中核的な機能を集約する。
- ・これらの機能を繋ぐための、歩行者や公共交通による回遊ネットワークを構築する。

目標2 誰もが都市の利便性を享受でき、安心して暮らし続けることのできる居住地づくり

- 白地地域や集落地域の拠点の検討
- 定住・移住施策との連携、居住エリアの人口密度維持
- 空き家対策、災害時の安全性確保
- 商業、医療、福祉機能の確保 など

【誘導方針・ストーリー】

- ・まちなかの後背圏では、一定の居住密度が保てるよう居住誘導する。
- ・縁辺住宅地の主要な公共施設は、まちなかに集約するものと、一定の居住水準を確保するために当面維持するものに仕分ける。

目標3 都市機能の利用を円滑にする、持続的な移動ネットワークづくり

- 市街地形成過程に配慮した拠点・軸等の位置づけ
- 縁辺部から拠点の交通ネットワークの確保・充実 など

【誘導方針・ストーリー】

- ・都市間ネットワークを担う、基幹的な公共交通軸を維持・充実する。
- ・都市間の移動、市街地内の移動を束ねる、交通結節点の強化を図る。
- ・市街地間の移動を円滑にする、バス等公共交通ネットワークの改善を図る。

目標4 江差町環境・産業を特色づける、農村、森林、海洋等の継承

- 森林・海洋の保全
- 資源循環、リサイクル、水環境 など

【誘導方針・ストーリー】

- ・まちなかへの都市機能の誘導と連動し、縁辺部や白地地域の土地利用の規制を強化する。

①自然環境、歴史的環境との調和と都市の継承が必要

＜キーワード＞

- ・森林・海洋の保全
- ・歴史的資源の保全活用
- ・地形や気候への配慮
- ・学び・継承の場の確保・維持
- ・市街地形成過程に配慮した拠点・軸等の位置づけ

②将来にわたる生活利便性の確保が必要

＜キーワード＞

- ・商業、医療、福祉機能の確保
- ・縁辺部から拠点の交通ネットワークの確保・充実
- ・道路・公園・下水道等の充実
- ・道路や施設のバリアフリー化
- ・白地地域や集落地域の拠点の検討

③人口減少社会に対応した、持続的な都市・地域経営が必要

＜キーワード＞

- ・市街地拡大の抑制
- ・拠点又は幹線沿道への機能集積
- ・施設ストックの活用・更新、長寿命化
- ・エネルギーの地産地消、省エネ
- ・資源循環、リサイクル、水環境

④交流促進・雇用創出につながる、魅力ある都市空間づくりが必要

＜キーワード＞

- ・観光・交流拠点の形成・充実
- ・歴史的町並みの形成・維持
- ・企業誘致、新産業育成の受け皿
- ・施設のユニバーサルデザイン化

⑤持続的なコミュニティ、安心して住める環境の確保が必要

＜キーワード＞

- ・定住・移住施策との連携、居住エリアの人口密度の維持
- ・歩いて暮らせる街なかへの居住促進
- ・空き家対策の推進
- ・津波等の避難所・避難路の確保